

福池小学校区防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド

防コミ運営本部設置基準

- ・震度 5 弱以上若しくは兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報が発表された場合、地震による災害が発生し、又は災害が拡大する恐れがある場合。
- ・特別警報が出された場合。
- ・上記のほか、大雨等で神戸市に土砂災害警戒情報が発表された場合。

活動方針

阪神・淡路の教訓で、近隣の方々に助けあうことはとても重要です。しかしながら、周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分達の出来る範囲で防災活動を行いましょう!!

防コミ運営本部 設置場所	福池小学校		
ブロック本部設置場所	西青木総合会館	北青木会館	
防災資機材庫の場所	福池小学校	春日神社	福井池公園
避難所	福池小学校		
耐震性防火水槽	小寄公園	甲南町北小公園	西青木公園
	本山南第2市住		
防災行政無線保有者	防コミ会長	防コミ副会長	

地震

個人の動き

- 継続する揺れに注意する。
- 自宅内の状況確認（家族の安否、家の被害状況、火元）を行う。
- 非常持出し品の確認（防コミ名札、服、帽子、ヘルメット等含む）を行う。
- 避難路を確認する（足元の被害、破損したものの落下物等）。
- ラジオ、テレビ、防災行政無線等で情報収集する。



防コミ（ブロック）の動き

- 近隣住民の安否確認を行う。
- 火災の発生状況を確認する。
- 逃げ遅れがないか確認する。
- 資機材庫を開錠する（福池小学校・春日神社2ヶ所）。
- 会館の被害状況を確認する（西青木総合会館・北青木会館）。
- 被災者を避難場所へ誘導する。



防コミ（本部）の動き

情報収集（情報班）

- 防コミ運営本部に情報を集約する。
 - ・ 火災（ガス漏れ等）の発生場所
 - ・ 建物等の倒壊場所（生理め、閉じ込め等）
 - ・ 要援護者等の避難状況、安否状況

！情報整理：緊急性等について、情報の整理をしましょう。

！情報共有：ホワイトボード等に整理して記入しましょう。

- 各ブロックと連絡をとりあう。
- ラジオ、テレビ、防災行政無線等で得た情報を集約する。
- 各班に指示した活動内容等を表や地図で集約する。
- 本部へ参集途上に得た、地域内の被害状況を集約する。
- 消防、警察等から得た情報を集約する。
- 消防、警察等が到着したら、情報の共有を行い、活動の依頼をする。
- 青年会との情報共有及び活動指示を行う。

備えておきたい資機材

ラジオ、筆記用具、ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、地域の地図

照明器具

消火活動（消火班）

- 火災発生の状況を運営本部に連絡する。

運営本部との連絡は、電話やトランシーバーよりも、人が駆け付けるのが確実です！

- 地域の住民に協力を願って、消火器等による初期消火を行う。
- 消防隊が到着したら、有効な水利（小学校のプール等）の情報を伝える。
- あらゆる消火器具を活用し消火活動を行う。
 - ・ 小型動力ポンプ、消火器、バケツリレー 等

救助活動（救出班）

- 情報班からの活動指示により活動を行う。
- 地域の住民に協力を願って、救出を行う。
- 消防隊等が到着すれば、手伝える範囲で救助活動を行う。
- 救出に必要な救助器具、防災器具を調達する。
 - ・ジャッキ、バール、のこぎり 等
- 二次災害に注意しながら活動する。
- 複数の人数で活動する。

救護活動（救護班）

- 地域の住民に協力を願って、負傷者等の救護にあたる。
- 救護に必要な資機材（三角巾・副木等）を調達する。
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施し、必要があれば医療機関に搬送する。
- 負傷者リストを作成する。
- 安否情報を情報班と共有する。

校医さんや看護師さん、地域の薬局等に、災害時の協力体制を日頃からお願いしておきましょう。

物資の補給（補給班）

- 非常食の調達をする。
- 飲料水の調達をする。
- 子供、高齢者等を優先とした非常食の配布を行う。
- 応急給水装置を設営する（福池小学校）。
- 女性や子育て家庭へ配慮する。
- 乳児のミルクや医療器具の消毒のため、お湯を沸かす。

食料品店等に、災害時の協力体制を日頃からお願いしておきましょう。

福祉活動（福祉班）

- 要援護者等の状況把握に努める。
- 地区の民生委員と連絡を取り、情報共有、福祉活動を行う。
- 福祉避難所を必要とする方がおられる場合は、避難所を巡回する市の保健師へつなぐ。
- 要援護者の避難支援を行う。

総務（総務班）

- 各班から得た情報を取りまとめる。
- 関係機関への連絡調整を行う。
- 防災福祉コミュニティ全般の連絡調整を行う。
- 情報班が集約した情報を地域住民に伝える。
- 避難者名簿を作成する。

活動指示書

情報収集

- 防コミ運営本部に情報を集約する。
 - ・ 火災（ガス漏れ等）の発生場所
 - ・ 建物等の倒壊場所（生埋め、閉じ込め等）
 - ・ 要援護者等の避難状況、安否状況
- 各ブロックと連絡をとりあう。
- ラジオ、テレビ、防災行政無線等で得た情報を集約する。
- 各班に指示した活動内容等を表や地図で集約する。
- 本部へ参集途上に得た、地域内の被害状況を集約する。
- 消防、警察等から得た情報を集約する。
- 消防、警察等が到着したら、情報の共有を行い、活動を依頼する。
- 青年会との情報共有及び活動指示を行う。

活動指示書

消火活動

- 火災発生状況を運営本部に連絡する。
- 地域の住民に協力を願って、消火器等による初期消火を行う。
- 消防隊が到着したら、有効な水利（小学校のプール等）の情報を伝える。
- あらゆる消火器具を活用し消火活動を行う。
 - ・ 小型動力ポンプ、消火器、バケツリレー 等

小型動力ポンプの使い方

- ① 吸管を水源に投入する
- ② エンジンをつける
- ③ 真空ポンプで揚水する
- ④ ホース、ノズルをつなぐ（ホースは1本20m）
- ⑤ 放水する



活動指示書

救助活動

- 情報班からの活動指示により活動を行う。
- 地域の住民に協力を願って、救出を行う。
- 消防隊等が到着すれば、手伝える範囲で救助活動を行う。
- 救出に必要な救助器具、防災器具を調達する。
- 二次災害に注意しながら活動する。
- 複数の人数で活動する。



救出方法

- ① 閉じ込められている人に声をかけて安心させ、中の状況を聞き出す
- ② ジャッキやてこを利用して、かぶさっているものを持ち上げる
- ③ できた空間に角材などを入れて支える
- ④ 作業のしやすい場所から除去や破壊を行う

活動指示書

救護活動

- 地域の住民に協力を願って、負傷者等の救護にあたる。
- 救護に必要な資機材（三角巾・副木等）を調達する。
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施し、必要があれば医療機関に搬送する。
- 負傷者リストを作成する。
- 安否情報を情報班と共有する。

「AED」は、まちかど救急ステーションにあります

福池小学校区においては、

- ・ 福池小学校
 - ・ 福池地域福祉センター
- などに設置されています。



活動指示書

物資の補給

- 非常食の調達をする。
- 飲料水の調達をする。
- 子供、高齢者等を優先とした非常食の配布を行う。
- 女性や子育て家庭へ配慮する。
- 乳児のミルクや医療器具の消毒のため、お湯を沸かす。
- 給水は福池小学校の「いつでもじゃぐち」を利用する。
本山南小学校の西隣に応急給水拠点（大容量貯水槽）もあります。



活動指示書

福祉活動

- 要援護者等の状況把握に努める。
- 地区の民生委員と連絡を取り、情報共有、福祉活動を行う。
- 福祉避難所を必要とする方がおられる場合は、避難所を巡回する市の保健師へつなぐ。
- 要援護者の避難支援を行う。

要援護者に対する災害時の接し方

聴覚障害者

災害時のサイレン等が聞こえません。身振りや簡単なメモで危険を知らせて一緒に逃げるようにします。



視覚障害者

支援者から名前を名乗り「一緒に避難しましょう」と声をかけて、誘導しながら避難します。

活動指示書

総務

- 各班から得た情報を取りまとめる。
- 関係機関への連絡調整を行う。
- 防災福祉コミュニティ全般の連絡調整を行う。
- 情報班が集約した情報を地域住民に伝える。
- 避難者名簿を作成する。

津波

個人の動き

- 継続する揺れに注意する。(姿勢を低く、頭を守って、動かない)
- 自宅内の状況確認(家族の安否、家の被害状況、火元)を行う。
- 非常持出し品の確認(防コミ名札、服、帽子、ヘルメット等含む)を行う。
- 避難路を確認する(足元の被害、破損したものの落下物等)。
- ラジオ、テレビ、携帯電話、防災行政無線等で情報収集する。



津波の有無の判断

津波・大津波警報の発表

ゆっくりとした大きな揺れが約1~2分間継続

- 国道2号線より山手へ避難する

元気な人は、できるだけ山手へ避難する
近所の人に呼びかけて避難する

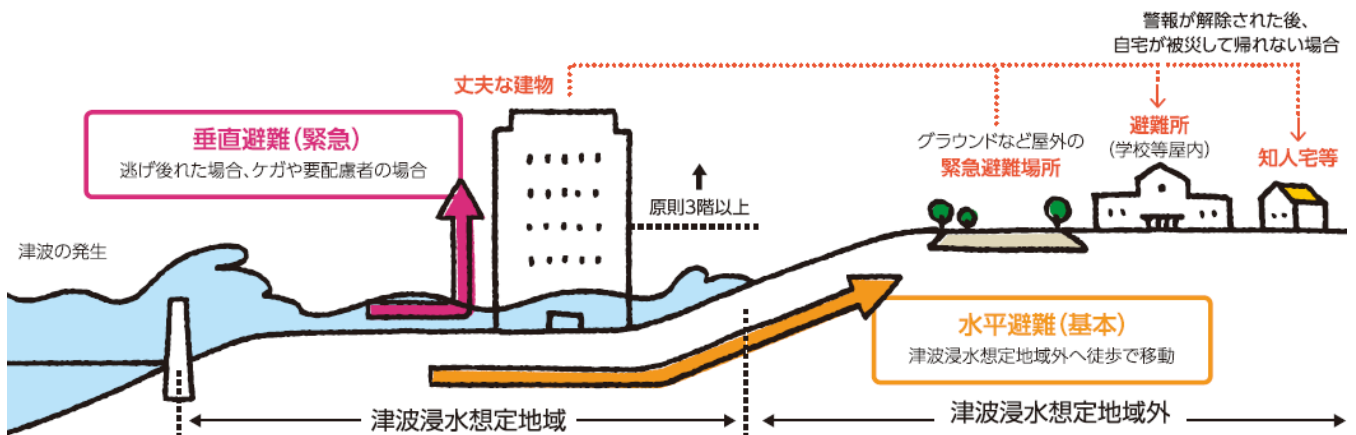
東日本大震災では、自らが率先避難者になり、「津波が来る！」と呼びかけながら避難することで、多くの人が助かりました。

地震発生から60分以内に避難！
逃げ遅れたら、丈夫な建物の原則3階以上に避難！

東灘区の想定

最高津波水位 **3.3m**

最短到達時間 **110分**



防コミ（ブロック）の動き

- ブロック別に役割とリーダーを選出する。
- 近隣住民の安否確認を行う。
- 津波の情報を収集する。
- 逃げ遅れがないか確認する。
- 資機材庫を開錠する（福池小学校・春日神社2ヶ所）。
- 二次災害に注意して、救助救出活動を行う。
- 住民を避難場所へ誘導する。（車椅子等を使用する）
- 本部に情報伝達する
- 各班と連絡を取る

防コミ活動の原則

活動時間は地震発生から60分以内！

春日神社は、浸水想定区域外ですが、川の側にあるため、注意しましょう。

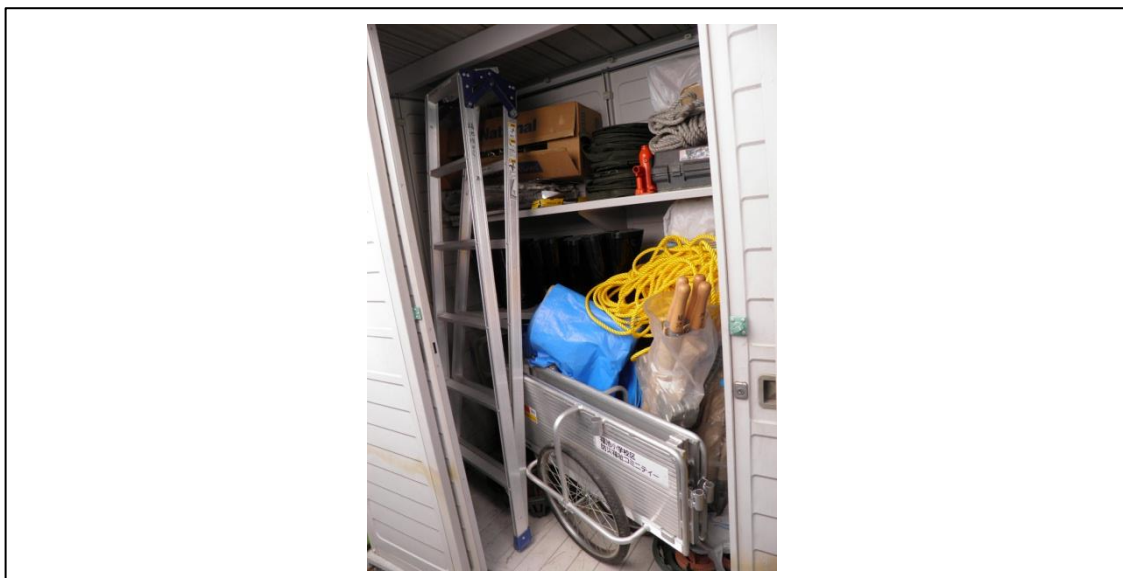
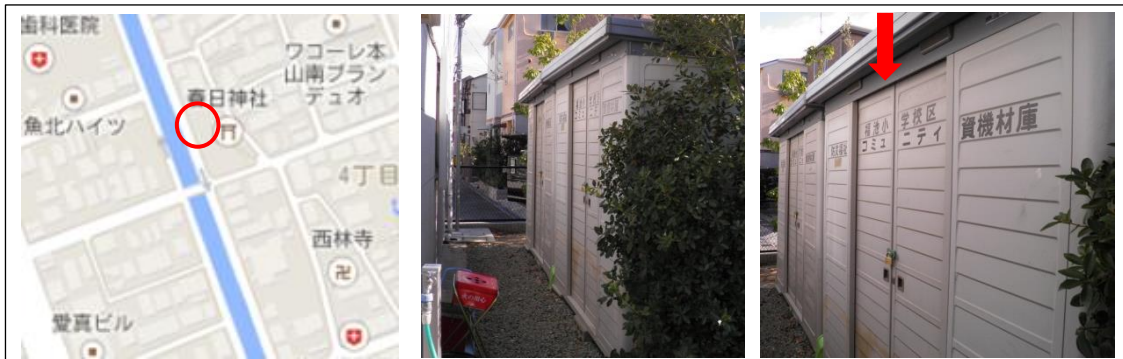
防コミ（本部）の動き

情報収集（情報班）

- 津波等の情報をテレビ・ラジオ・防災行政無線等で確認する
- 防コミ運営本部に情報を集約する。
 - ・ 避難者を町別で確認する
 - ・ 安否情報を集約する
 - ・ 地図を貼りだして、災害の確認をする
 - ・ 各班と連絡を取る
- 要援護者等の安否情報について、民生委員と連絡を取り合う
- 消防署・警察・各関係機関に情報連絡する
- 医師と連絡を取る
- 避難者等の名簿を作成する
- 避難者の中で、看護師、電気・建築その他の特技者に応援を求める

防災資機材庫

所在地	春日神社西（北青木4丁目20番1号）		
資機材庫規格	中（2200×1100×2000）	設置年月	平成11年3月



消火用	布バケツ	2	その他	ヘルメット	6
				軍手	3
				ヘッドランプ	6
救助用	スコップ	9		腕章	4
	バール	6		携帯用電灯	9
	のこぎり	6		サルベージシート	2
	おの	1		台車	1
	ハンマー	3		2 バウンドラジオ	2
	簡易ジャッキ	2		カセットコンロ	2
	つるはし	2			
	ボルトクリッパー				
	折り畳み担架	2			
	とび口				
	ロープ				

防災資機材庫

所在地	春日神社東（北青木4丁目20番1号）		
資機材庫規格	中（2200×1100×2000）	設置年月	平成11年3月



消火用	布バケツ	13	その他	ヘルメット	5
	訓練用水消火器	3		軍手	7
				長靴	4
救助用	スコップ	7		腕章	43
	バール			携帯用電灯	5
	のこぎり	5		拡声器	1
	おの	1		サルベージシート	2
	ハンマー	2		台車	1
	簡易ジャッキ	2		脚立	1
	つるはし	2		懐中電灯用電池	60
	ボルトクリッパー			拡声器用電池	30
	折り畳み担架	2		業務用コンロ	1
	とび口	2		炊き出し器具	1
	ロープ	1		救急用品	1
				折りたたみリヤカー	2
		夏用ジャンパー	40		

防災資機材庫

所在地	福池小学校（本山南町4丁目4）		
資機材庫規格	中（2200×1100×2000）	設置年月	平成11年3月



消火用	布バケツ	17	その他	ヘルメット	9
				軍手	2
				長靴	5
				腕章	33
救助用	スコップ	17		携帯用電灯	3
	バール	18		トランジスタメガホン	2
	のこぎり	6		サルベージシート	12
	おの	2		台車	1
	ハンマー	4		携帯用マルチ給水栓	2
	簡易ジャッキ	2			
	つるはし	4			
	ボルトクリッパー	1			
	折り畳み担架	2			
	とび口	4			
ロープ	1				